

国際ロータリー会長：バリー・ラシン

「インスピレーションになろう」

第2560地区ガバナー：川瀬 康裕

「自らのストーリーを作しましょう」

会長：高橋研一

「将来みんなのためになること

これからのロータリーのために

力を込めて課題にチャレンジしよう！」

幹事：松山浩仁

SAA：外山裕一

三条北ロータリークラブ週報

例会日2018.11.27 累計No.1525 当年No.19

例会日：火曜日 12:30～13:30

例会場：三条ロイヤルホテルTel34-8111

事務局：三条市本町3-5-25 三条ロイヤルホテル内

TEL 0256-35-7160 FAX0256-35-7488

HP：http://www.sanjo-nrc.org

本日の行事：「ロータリー財団月間」

- ◆本日の出席：63名中28名
- ◆先々週の出席率：63名中48名 76.19%
(前年同期 81.54%)
- ◆本日のゲスト
RI2560地区 第4分区ガバナー補佐
久住 勲夫 様
- ◆今週のメイクアップ(敬称略)
22日地区大会実行委員会慰労会
金子太郎、高橋研一

* 本日の配布書類等

- ・週報No.1522、1523、1524
- ・公式訪問の確認
- ・ロータリーの友11月号

会長挨拶：高橋研一 会長



皆さんこんにちは。本日11月27日(火)第17回目の挨拶をさせていただきます。本日の卓話にお越しいただいておりますRI第2560地区第4分区ガバナー補佐久住勲夫様ありがとうございます。

11月20日(火)の職業奉仕委員長羽賀一真会員と委員会の皆様で企画された柏崎刈羽原子力発電所視察について、お話ししたいと思います。私は平成22年6月に福島第2原発を視察しました。入口のゲートのチェックは厳しくもなく、支持管理室もほとんど今回の柏崎刈羽原子力発電所と同じく感じられました。6年前に思ったことは、発電資源のない国の危険な宿命なのかと思いましたが、しかし6年も過ぎるといろいろなことが起きました。福島第一原発の自然災害による放射能漏れ、未だその処理も中途半端で元には復興できず、

市民は地元に戻れず、この現実を見てまだ再稼働を望んでいる事には利権が絡むので分からないわけではありません。しかし、一番大事な人間の尊厳を中心に考えたらこのまま続けるべきか否かを考え、ウランとプルトニウムの原発を終わらせて、小型原子炉に開発を変えて行くべきではないでしょうか。話は尽きないのでこの辺で終わらせていただき、職業奉仕委員長及び委員の方々に、大変な段取りをしていただき誠にありがとうございました。感謝申し上げ、終わります。

幹事報告：松山浩仁 幹事

- ・新保副ガバナーより 地区大会の御礼
2019年国際ロータリー年次大会(ハンブルグ)参加旅行のご案内
大会開催期間：2019年6月1日～6月5日
- ・2017-18年度 地区大会において「ガバナー賞」を頂きました。
米山記念奨学会寄付 個人表彰 高橋 彰雄 会員
ロータリー財団 個人表彰 アークランドサカモト 様
1人当たり年次寄付額第1位 三条北ロータリークラブ
分区公共イメージ表彰 三条北ロータリークラブ
- ・地区事務所より「財団月間」のシニアリーダーからのメッセージが届いています。
- ・三条南RCより 創立50周年記念誌が届いています。(受付においてあります。)
- ・新津中央RCより 創立40周年記念誌が届いています。(受付においてあります。)
- ・三条ローターアクトクラブ「12月第二例会」のご案内
日時：平成30年12月20日(木) 19:30～21:00 場所：三条・燕地域リサーチコア 4F
- ・五十嵐川を愛する会より 五十嵐川クリーン作戦作業参加のお礼



・次週12月4日は、ガバナー公式訪問です。12:20までに集合をお願いします。

ロータリー財団ボックス：27日現在累計77,000円

斎藤 正君 久住ガバナー補佐のご来訪に感謝して。
米山 忠俊君 今日新聞で植木康之 PG が 11 月 19 日に死去された事を知りました。
我が三条北 RC も植木年度ではご指導頂き、お世話になりました。謹んでお悔やみ申し上げます。
石川 勝行君 ロータリー財団に協力します。
星野 義男君 //
石川 友意君 BOXに!!



米山奨学ボックス：27日現在累計171,000円

吉田 文彦君 協力します。
森 宏君 柏崎刈羽原発を視察して、認識が少し変わりました。
羽賀さん有難うございました。

スマイルボックス：27日現在累計300,000円

久住 勲夫君(分水 RC) ガバナー補佐の久住勲夫です。
今日はよろしく願いいたします。
早川 瀧雄君 久住ガバナー補佐の卓話楽しみです。又、ご苦労様です。
渋谷 義徳君 久住ガバナー補佐、よろしくご指導のほどお願い申し上げます。
羽賀 一真君 先週の柏崎原発見学への皆様のご参加、ありがとうございます。本日はガバナー補佐の久住勲夫様、ようこそいらっしゃいました。
松山 浩仁君 ガバナー補佐久住様、ようこそおいでくださいました。どうぞごゆっくりしてってください。父の葬儀の際には会長はじめ沢山の方々にご会葬いただき誠にありがとうございました。お陰を持ち、無事相済みました。
吉田 文彦君 先日長男が結婚しました。あちこちから届く請求書に今は毎日ビクビクして暮らしています。



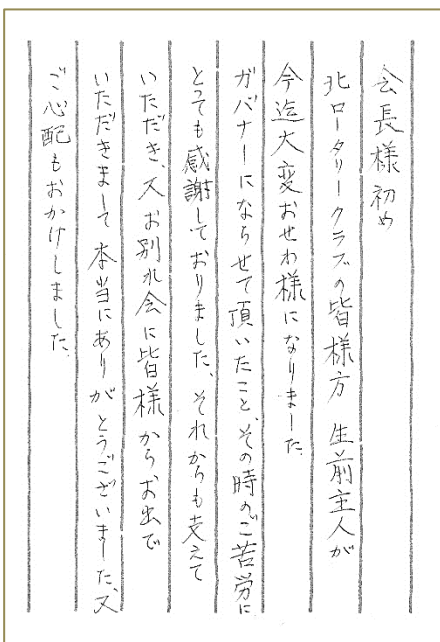
『中條パストガバナーの奥様 中條敦子様より
お手紙をいただいております。』

会長初め、北ロータリークラブの皆様方、生前主人が今迄大変お世話様になりました。ガバナーにならせて頂いたこと、その時のご苦労にとっても感謝しておりました。それから支えていただき、又お別れ会に皆様からお出でいただきまして本当にありがとうございました。又ご心配もおかけしました。

今迄の皆様方のご厚情本当に感謝しております。私も少しずつですが、以前の生活に戻りつつあります。これからもよろしく願い申し上げます。

かしこ

北ロータリークラブの皆様方
私のほんの気持ちでございます ニコニコボックスへ



今日の行事：「公式訪問事前指導」

RI 第 2560 地区第 4 分区ガバナー補佐 久住勲夫 様(分水 RC)



(1)2018年12月4日(火曜日)ガバナー公式訪問スケジュール計画書について
会長・幹事との懇談会(55分)クラブ例会は昼食をいただきながら(30分)ガバナー
講和は、RI会長バリーラシン氏、第2560地区川瀬康裕ガバナー地区運営方針の
発表を行った際のビデオをご覧いただき、ガバナー補佐及び地区幹事の関川博氏から補足説明をいた
します。(30分)この後、集合写真撮影を行い、クラブ協議会では、各委員会の委員長より発表してい
たいただきます。(60分)終了予定15:00。

(2)ガバナー選出の分区輪番制について

2016年11月5日の会長会決議において、ガバナー選出の難航に対応するため輪番を組むことは決ま
っていましたが、輪番サイクルの開始年とサイクルの中に第2分区を2回入れて8回で一巡すること
は決まっていませんでした。又輪番制とは無関係に自主的にガバナー排出を希望するクラブがある場
合には輪番制に優先することになりました。(会長会で決定)

(3)川瀬ガバナーの公約である認知症について

認知症対策は、我々にとって最も身近な問題となっており、各クラブもさまざまな取り組みを行って
います。燕RCは燕三条ワシントンホテルで「認知症サポーター養成講座」を開き、認知症の正しい
知識を学び、一般人、支援センター職員、社会福祉協議会と共に、認知症の症状・当事者との接し方
を勉強しました。三条新聞・越後ジャーナルにも大きく取り上げられ、分水RCは「新潟からベトナム
へ～認知症の母と生きていく～」主人公を題材とした「ベトナムの風に吹かれて」という、日本と
ベトナムの合作映画を多数の一般人に無料の映画を上映して、ロータリアンはもとより一般人に認知
症患者に関心を持ってもらう取り組みを行いました。その財源はロータリー財団の補助金で運営され
ています。

以上

ガバナー賞 表彰

米山記念奨学会寄付 個人表彰 高橋 彰雄 会員



12月のお祝い

誕 生 日				結 婚 記 念 日		
会 員		ご 夫 人				
田口実仁佳	1	浅間 陽子	2	佐藤 義英・ミチ子		5
佐藤 秀一	4	今井 房子	4	加藤 實・満寿子		19
渡辺 徹	19	山崎八重子	8	斎藤 正・裕子		23
		渋谷 朋子	11			
		米山由貴江	19			



RI会長からのメッセージ

親愛なるロータリーリーダーの皆さま

11月は「ロータリー財団月間」です。先日の「世界ポリオデー」では大成功をおさめることができました。皆さまのご協力とご支援に心から感謝いたします。

ロータリー本部のあるここエバンストンでは、ロータリアン、ロータリー職員、ローターアクターが集まってポリオイベントの生中継を視聴し、バーチャルリアリティを体験し、共にポリオ撲滅への熱い決意を新たにしました。また、世界ポリオデーに合わせて3,300のポリオ撲滅活動が世界中から報告されました。エバンストンでのイベントもその一つです。皆さんが認識向上に努めてくださったおかげで、ポリオ撲滅にさらに近づくことができましたでしょう。

これからもロータリーのポリオ撲滅活動は続きます。識字率向上、経済発展、健康の促進、安全な水の提供、世界平和の活動など、あらゆる活動がロータリー財団を通じて実現しています。設立101年目を迎えた今、財団はロータリーのエンジンとなり、クラブや地区による大規模かつ持続可能なプロジェクトを支えています。

皆さんのクラブが大規模プロジェクトを検討している場合は、ロータリアン行動グループ(RAG)と協力することも可能です。RAGとは、マイクロクレジット、平和と紛争解決、健康、災害支援、水と衛生など、特定分野の専門知識と意欲を持ったロータリアンとその家族や学友で構成された国際的なグループです。専門知識・スキルの提供に加え、RAGは、補助金申請、地域調査、パートナーシップ、ファンドレイジング、モニタリングと評価においても、クラブを支援できます。

RAGには、ロータリーの重点分野に関連するグループもあります：人口と開発、水と衛生、家族の健康とエイズ予防、マイクロファイナンスと地域発展、平和。ロータリアン行動グループと連絡を取り、プロジェクトの企画段階から協力することをご検討ください。

また、11月27日(火)のGiving Tuesday(寄付の火曜日)に参加して、チャリティ活動をもって「財団月間」を締めくくしましょう。この日、世界中の多くの他団体への支援、または協賛が実現することでしょう。オンライン寄付の新しいプラットフォームにより、これまで以上に円滑に寄付できるようになりました。大切な方の名義での記念寄付もでき、その旨をEメールで通知、または印刷した通知書をお渡しすることもできます。

私たちはよく、ロータリー財団を「私たちの財団」と呼んでいます。ほとんどの慈善事業とは異なり、ロータリー財団は、真の意味で私たちの財団なのです。なぜなら、ロータリー財団はロータリーファミリーとその活動によって支えられているからです。今年度、財団は既に222件の地区補助金(総額3,190万ドルと、41件のグローバル補助金(総額1,190万ドル)を承認しました。

恒久基金と年次寄付をさらに成長させ、効果的で持続可能な未来を築いていくことが私たちの目標です。これによってロータリーは、世代を超えて「インスピレーションになる」ことができるでしょう。

感謝をこめて

2018-19年度国際ロータリー会長
バリー・ラシン

2018-19年度ロータリー財団管理委員長
ロン D. バートン